

2019

レース結果報告書

全日本選手権 第4戦 筑波



DOGFIGHT **R**

株式会社ドッグファイトレーシング

レース

Race

全日本選手権第4戦は地元開催の筑波ラウンド。不安定な天気の中でしたが、GP-2、JP250、ST600それぞれ2ヒートの決勝が行われました。

土曜日のヒート1はウエット、日曜日のヒート2はドライコンディションで

レースが行われました。更に日曜日には注目の新カテゴリーST1000クラスのエキシビジョンレースも開催され藤田選手が久々にチームに戻って参りました。地元のファンにアピール出来る走りを繰り広げた4人のレース結果をご報告致します。

名トンベイ：全日本選手権 第4戦 筑波大会

開催日：2019年6月22-23日

観客動員数：7500人(土日合計)

レース結果：	GP2	#31	豊島 怜	予選	9位	決勝ヒート1	9位	ヒート2	10位
	JP250	#3	谷本音虹郎	予選	7位	決勝ヒート1	4位	ヒート2	6位
	ST1000	#33	藤田拓哉	予選	1位	決勝	2位		
	ST600	#11	渡辺海志郎	予選	34位	不通過			

WEBリザルト：

www.mfj.or.jp/user/contents/race_result2019/road_race/2019result/rd01/index.html



レース・ヒート1

Race

土曜日の第一ヒートは雨のレースとなりました。その難しいコンディションの中でJP250の谷本が総合4位を獲得！レース序盤は2番手を快走！CBR勢を抑え込んで粘りの走りを見せてくれました。トップの森選手が単独で周回する中、谷本は激しい2番手争いを展開。パワーに勝るCBR勢に対してインフィールドで突き放し逃げ切りを見せる谷本ですがレース中盤に後続集団に追いつかれてしまいます。4台でのドッグファイトを展開していた8周目の赤旗によりレースが中断。そのまま終了で7周目の結果で総合4位となりました。

GP2の豊島もスタートを決めて7番手にジャンプアップしてオープニングラップを通過。尾野選手や徳留選手などのベテラン勢を抑えて周回を続けますが、レース中盤に二人に交わされてポジションダウン。懸命に食らいつこうとしますが徐々に引き離されてしまい、そのまま9番手でチェッカーを潜りました。

土曜日の最後の走行はST1000の練習走行。ーフウエットから徐々に乾き始めた微妙なコンディションのコースを藤田選手がライディングしましたが、路面が乾いてしまいリヤタイヤドライ、フロントタイヤレインにセットを変更してアタックしましたが、かなり厳しかったようで3番手タイムとなってしまいました。



レース・ヒート2

Race

レース2日目はドライコンディションとなりましたが曇り空から時折小雨が落ちる微妙なコンディションの中での決勝となりました。

JP250の谷本は公式予選のセカンドタイムでヒート2の決勝グリッドは3列目の9番手。コースのイン側からのスタートとなる難しいポジションでしたが好スタートで1列前に切れ込みオープニングラップで6番手にジャンプアップして通過。しかし先頭集団の5台とは少し差が開いてしまい、ここで追いつかないと単独走行となり厳しい展開になってしまいます。懸命にプッシュする谷本ですがトップ集団のスリップに入れず徐々にその差が開いてしまいます。レース中盤に第2集団が追い付いてきて谷本はこれに飲み込まれてしまいます。ストレートで抜かれ、コーナーで抜き返しポジションを死守しますが、最後は自身のミスもあり10番手にダウン。悔しいドライレースとなってしまいました。

GP2の決勝もドライコンディションでスタート。豊島はスタートの反応は良かったものの他車との接触を避けるために一瞬アクセルを戻してしまい後退。オープニングラップは最後尾に落ちてしまいます。そこから一気にペースを上げて井出選手を交わして9番手にポジションアップ。3周目には自己ベストを更新して58秒に突入して更に前を追いかけますが、ここで小雨が落ちてきて全体がペースダウン。微妙なコンディションでライダーたちは戸惑いを見せる走りの中でしたが徐々にペースを取り戻し始めペースアップ。そんな中で豊島はペースを上げることが出来ず一度抜いた井出選手にも再び抜き返されてしまいます。そこから追走する事も出来ないまま徐々に引き離されて単独走行となり10番手でチェッカーとなりました。

そして注目のST1000のエキシビジョンレース。朝のフリー走行兼公式予選でポールポジションを獲得した藤田選手が決勝に臨みました。少し余裕を見て安全にスタートした藤田は2周目に一気にペースアップ。一人57秒台に突入して前に行く新庄選手の背後について抜き去るポイントを探りながら周回します。しかし4周目に入ったところでマシントラブルが発生してしまいペースダウン。懸命にマシンを労りながら周回を重ねて2番手を死守してチェッカーを潜りました。

コメント

Ofisyaru Comment

ホームコースの筑波ですからJP250では総合優勝、GP2では表彰台を目指して準備して参りましたがまだまだマン＆マシン共に力不足でした。それでも谷本は今持てる力を出し切って良い走りを見せてくれました。パワー差が若干少なくなる雨のレースではライバル勢を後続に従えて2番手を快走してくれたことは大きな収穫です。

一方の豊島はウイーク初日に59秒0とベストを更新してスタートしましたが、そこからタイムアップすることが出来ないまま決勝まで迎えてしまったことはライダー＆メカニックの力不足としか言えません。もう一度鍛えなおさなければいけません。さらに決勝レースで見せた闘争心の消失はライダーにとって危機的状态ととらえております。

休む間もなく今週末はアジア選手権にスポット参戦致します。アジアのハングリー精神を持ったライダー達と戦うことで更なる成長に期待します。そして豊島にはマシンハンデのないイコールコンディションのSS600クラスで言い訳のできない一戦となります。チーム一丸となり力を出し切りたいと思います。

ドッグファイトレーシング
代表 室井秀明

ギャラリー

Gallery



応援！ありがとうございます！



©Ken'ya Yamamoto

スポンサー

Sponsor

Sponsor



竹中興運

Nakano Co., Ltd.



ご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。次戦も頑張ります！

